

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
生命科学 I		高島 浩一郎	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／4単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	体の各部分の働きと仕組みを深く理解することにより、自分の言葉でまとめたり、人にわかりやすく説明したり、問題を解くことができる。これにより、他の教科の理解も進むし、患者の診療や治療を科学的に行えるようになることが期待される。		
目標	知識: 体の各部分の働きと仕組みを理解し、患者さんにわかりやすく説明できる。 態度: 体の各部分の働きと仕組みを踏まえて、患者さんを診ることができる。 技能: 体の各部分の働きと仕組みに合わせて、患者さんを治療できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	前期の全体と後期の前半の22回に渡って、1・2年で習った 生理学の復習 を、人体の構成(基礎)、運動器系(筋)、神経系(神経、運動、自律神経系)、感覚器系、循環系、血液と免疫、呼吸器系、消化器系と代謝・栄養、泌尿器系、内分泌系と体温、生殖・身体の変齢変化、調節の各項目に分けておこなう。 後期の後半には、過去の 国家試験問題の解説 を8回に分けて行う。 教育方法は主に講義であるが、ドリルなども使う。 身体の働きと仕組み を、単に暗記するのではなく、 深く理解することが大切である。自分の言葉でノートにまとめたり、他人にわかりやすく説明できたり、問題が解けたりすれば、理解できたと言える。理解は少しずつしか深まらないので、理解しにくい頻出事項は、より基本となることを、調べたり、人に聞いたりしてほしい。		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に、ドリル点を加味して評価する。		解剖生理(医歯薬出版)を教科書とし、手製プリントを参考資料として配布する。	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		基礎分野	
科目名		講師名	
生命科学Ⅱ		小野寺 悟	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／2単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	国家試験問題を解くための基礎力を強化する事を目的とする。		
目標	1. 過去問の答えの暗記ではなく、考えて解く技術を身に付ける。 2. ①予習 ②授業 ③毎回の小テストのための復習 ④定期試験と繰り返しの学習 によって基礎力を強化する		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1回 細胞 2回 組織 3回 心臓 4回リンパ系 5回 呼吸器系 6回 消化器系(1) 7回 消化器系(2) 8回 中間試験解説授業 9回 泌尿器・男性生殖器 10回 女性生殖器・受精と発生 11回 内分泌系・神経系総論 12回 脊髄・脳幹・小脳・間脳 13回 大脳・脳室・髄膜・伝導路 14回 末梢神経系 15回 特殊感覚 16回 期末試験解説授業	授業開始時に前回の授業で学習した問題演習(小テスト)を行う。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、毎回の小テスト、出席状況、授業態度		解剖生理学 医歯薬出版 ほかに毎回講義内容のプリントを配布	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
解剖学Ⅲ		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	神経系や感覚器系の知識を習得し、理解を深める。		
目標	各章に関する問題を解答することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 中枢神経系① 2. 中枢神経系② 3. 中枢神経系③ 4. 中枢神経系④ 5. 末梢神経系① 6. 末梢神経系② 7. 前期中間試験対策 8. 前期中間試験 解答・解説 9. 末梢神経系③ 10. 感覚器系① 11. 感覚器系② 12. 感覚器系③ 13. 感覚器系④ 14. 感覚器系まとめ 15. 前期期末試験対策 16. 前期期末試験解説 17. 神経系復習・まとめ① 18. 神経系復習・まとめ② 19. 神経系復習・まとめ③ 20. 感覚器系復習・まとめ① 21. 感覚器系復習・まとめ② 22. 後期中間試験対策 23. 後期中間試験解説 24. 運動器系① 25. 運動器系② 26. 運動器系③ 27. 運動器系④ 28. 運動器系⑤ 29. 後期期末試験対策 30. 後期期末試験対策		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する。		解剖学(第2版)、解剖生理 まとめプリント 演習問題プリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
解剖学Ⅳ		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	身体の構造を再度確認し、国家試験に対応できる知識を身に付ける。		
目標	各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 骨・筋 復習問題・解答 2. 骨・筋 復習問題・解答 3. 運動器系 骨の連結・関節の種類、脊柱 4. 運動器系 上肢の骨格 5. 運動器系 下肢の骨格、頭蓋骨 6. 運動器系 骨全般問題演習 7. 運動器系 骨全般問題、中間試験対策 8. 全期中間試験復習、解説 9. 運動器系 体幹の筋 10. 運動器系 上肢の筋 11. 運動器系 下肢の筋 12. 運動器系 頭頸部の筋 13. 運動器系 骨・筋まとめ 復習 14. 運動器系 骨・筋まとめ 復習 15. 運動器系 骨・筋まとめ 復習		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する		解剖学（第2版）、解剖生理 まとめプリント	
担当教員の実務経験の有無	無	演習問題プリント	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
生理学Ⅲ		三條 敏也	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系について基礎知識を習得し、生理学的機能を理解する。		
目標	1. 生理学の重要用語について説明できる。 2. 教科書中の主要な図について説明できる。 3. 教科書中の主要な表について説明できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	テキスト各章のうち、神経系(脊髄神経、脳神経、自律神経など)、筋肉(骨格筋線維、筋小胞体など)、運動調節(運動単位、筋紡錘、下行性伝導路など)、感覚(体性感覚、上行性伝導路、内臓感覚、特殊感覚など)、生体防御(自然免疫、細胞性免疫、液性免疫など)、バイオリズム(日内リズム)。	講義、授業プリント。プリントのファイルを作成し、紛失しないこと。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験に基づいて評価する。出席状況、課題レポートなどを加味する。		1. 解剖生理、東洋療法学校協会編、内田さえ 他著、医歯薬出版 2. 生理学 第3版、東洋療法学校協会編、内田さえ 他著、医歯薬出版	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			
専門学校での授業等の実務経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
生理学Ⅳ		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	演習問題を通して、人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し、正常な人体機能(生命活動)の理解を深めることを目的とする。		
目標	1. 人体の各機能について基礎的知識を習得し、主要な機能について説明できる。 2. 生理学の知識をはりきゅう理論、臨床医学各論、東洋医学臨床論に応用できる		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 神経 ・ニューロンの構造・電位・伝導 ・神経線維・シナプス伝達 ・中枢神経系の働き ・自律神経系の働き 2. 筋 ・筋の構造、横紋筋・心筋・平滑筋の特徴 ・収縮のしくみ 3. 運動 ・筋神経支配、興奮の伝達 ・運動の調節と反射 ・錐体路・錐体外路 4. 感覚 ・聴覚・平衡感覚 ・視覚 ・味覚 ・痛覚・皮膚感覚	プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。		教科書:生理学(医歯薬出版) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
病理学		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	疾病の概念を明らかにするため疾病の原因・各種の疾患の基礎知識を習得させる		
目標	1. 要点を理解し、応用できる。 2. 国家試験問題を解き、内容を解説することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1章 病理学とは 2章 疾病についての基本 3章 病因 4章 循環障害 5章 退行性病変 6章 進行性病変 7章 炎症 8章 腫瘍 9章 免疫 10章 先天異常		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		病理学概論(医歯薬出版)	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
臨床医学総論Ⅱ		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	医療面接技法、診察法、症候を把握し、患者を理解し、正しく診断して適切な医療行為を行なえるようにする。		
目標	1. 疾病の判断 2. 鍼灸治療の適切 3. 不適応の判断 を行なえる知識を身に付ける		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 医療面接の進め方や方法 2. 生命徴候 3. 全身診察 4. 局所診察 5. 神経系診察 6. 運動系診察 7. 臨床検査 について鍼灸行為を行なっていく上で必要な技能を身に付ける。		☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		臨床医学総論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
臨床医学各論 I		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に, 原因, 疫学傾向, 症状, 治療, 予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする.		
目標	代表的疾患に関する知識を身に着け、患者の診察や治療の際の注意事項を理解し、適切に対処できるようにする。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	臨床医学各論の各章より 1. 感染症 2. 整形外科疾患 3. 小児疾患 4. 外科疾患 5. 麻酔 6. 婦人科疾患 7. 皮膚疾患 8. 眼科・耳鼻科疾患 9. 精神・心療内科 について学ぶ。		☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		臨床医学総論、臨床医学各論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
臨床医学各論Ⅱ		加納 舞	
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数	教育方法
2年・通年		60時間／2単位／30回	講義
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。		
目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1.臨床医学を学ぶ意義 2.消化器疾患(第2章) 口腔疾患, 胃・大腸疾患, 腹膜疾患 3.代謝疾患(第7章) 糖尿病, 脂質異常症, 痛風, その他代謝異常 4.肝胆膵疾患(第3章) 肝臓疾患, 胆道・胆嚢疾患, 膵臓疾患 5.循環器疾患(第9章) 心不全, 不整脈・血圧異常, 冠動脈疾患, 動脈・静脈疾患 6.血液・造血器疾患(第10章) 赤血球疾患, 白血球疾患, 出血素因 7.膠原病・リウマチ疾患(第12章) 膠原病, リウマチ性疾患, 線維筋痛症		・プリントを基に、スライドにて講義を進める。 ・プリントのノート欄に適宜メモをとること。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		教科書:臨床医学各論(医歯薬出版) 参考書:病気がみえる(メディックメディア) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無		無	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
臨床医学各論Ⅲ		加納 舞	
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数	教育方法
2年・通年		60時間／2単位／30回	講義
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。		
目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1.臨床医学を学ぶ意義 2.呼吸器疾患(第4章) 感染性疾患、閉塞性疾患、拘束性疾患、腫瘍 その他の呼吸器疾患 3.内分泌疾患(第6章) 下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患 その他の疾患 4.腎・尿器疾患(第5章) 糸球体疾患、腎不全、感染性疾患、腫瘍 結石・前立腺疾患、子宮・卵巣疾患 5.神経疾患(第11章) 脳血管疾患、感染性疾患、腫瘍、変性疾患 認知症、筋・運動ニューロン障害、神経痛 末梢神経障害、機能性疾患		・プリントを基に、スライドにて講義を進める。 ・プリントのノート欄に適宜メモをとること。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		教科書:臨床医学各論(医歯薬出版) 参考書:病気がみえる(メディックメディア) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無		無	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
リハビリテーション医学		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	医療的、教育的、社会的、職業的分野からリハビリとはどういうものを学ぶ。 総論的分野から入り、後半は各疾患に対するリハビリを学ぶ。		
目標	リハビリが必要な患者に対し適切な評価、リハビリの指導が行えるようになってもらう。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. リハビリ医学の総論としてリハビリの概要障害の種類、障害の捉え方と分類、四肢の計測とROM、MMTと運動の協調性テスト、ADL評価・廃用症候群、小児運動発達テスト、心理テスト、理学療法、作業療法、装具と杖歩行について学ぶ。 2. 各論として各疾患(脳卒中、脊髄損傷、切断、脳性麻痺、整形疾患、心肺疾患、関節リウマチ、パーキンソン病など)のリハビリ内容、進め方を学ぶ。	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視して評価する。		リハビリテーション医学教科書、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	無		
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
社会保障制度及び職業倫理		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	15時間／1単位／8回	講義	
授業概要 (目的)	・世界と我が国の社会保障制度を理解し、はり師きゅう師に必要な実務を習得することを目的とする。 ・医療人及びはり師きゅう師としての社会的役割を理解し、職業倫理を身に付けることを目的とする。		
目標	1. 我が国の社会保障制度について説明できる。 2. はり師きゅう師として我が国の福祉介護サービスにおける役割について説明できる。 3. 医療人、はり師きゅう師の職業倫理について自分の意見を述べるができる		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 世界及び日本における社会保障制度の歴史、社会保障制度の概念、対象、種類(法律、サービス等)について。 2. 地域包括ケアシステムについて理解し、はり師きゅう師の役割を考える。 3. 我が国の医療・福祉現場における問題点とはり師きゅう師の役割について。 4. 医療人およびはり師きゅう師としての心得、職業倫理について、グループワーク中心に、様々な考え方・幅広い視野を持てるよう学びを深める。		・プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 ・グループワークおよびレポート課題も評価の対象とする。 ・定期試験は1回のみであることに注意すること。 ・Google classroom授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		参考書: 社会あはき学、関係法規(医道の日本社) 実習の手引き2024版(臨床実習Ⅲ・福祉) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無		無	
実務経験の内容			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学概論Ⅲ		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	四診(望診、聞診、問診、切診)の内容を理解し、東洋医学的な医療面接が可能な能力を身に着ける。 患者の病態にあった治法を選択できる力を身に着ける		
目標	1. 四診について説明できる。 2. 四診(医療面接)で得た情報を東洋医学的に分類できる。 3. 各弁証と病態に対する治法を説明できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・四診について・色体表復習 ・望診の内容・舌診 ・聞診の内容 ・問診の内容 ・切診について ・脈診の種類と脈状の特徴 ・難経六十九難の使い方と配穴 ・治法 ・刺法の種類と内容 ・弁証の種類と特徴		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		東洋医学概論 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
経絡経穴概論Ⅲ		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	経絡の流注や、経穴の性質、解剖学的視点を交えた考え方などが出来るようにする。 臨床に役立ち国家試験にも対応できる知識を身に付ける。		
目標	1. 経穴名だけでなく、臨床上の意義や取穴部位から経穴を連想できるようになる。 2. 五要穴、五行穴の表が運用できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. オリエンテーション 2. 要穴表① 3. 要穴表② 4. 要穴表関連演習問題 解答 解説 5. 要穴表関連演習問題 解答 解説 6. 骨度法① 7. 骨度法、要穴表演習問題、中間試験対策 8. 前期中間試験復習、解説 9. 骨度法② 10. 流注① 11. 流注② 12. 筋・骨① 13. 筋・骨② 14. 流注、筋・骨関連演習問題 解答・解説 15. 期末試験対策		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する		新版 経絡経穴概論(第2版) まとめプリント 演習問題プリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
鍼灸師として勤務経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
経絡経穴概論Ⅳ		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	経絡の流注や、経穴の性質などを再度確認し、臨床に役立ち国家試験にも対応できる知識を身に付ける。		
目標	各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 総合演習問題(1)、解答 2. 総合演習問題(2)、解答 3. 総合演習問題(3)、解答 4. 総合演習問題(4)、解答 5. 骨度法 6. 骨度法、要穴表 7. 骨度法、要穴表演習問題、中間試験対策 8. 前期中間試験復習、解説 9. 督脈 10. 任脈 11. 手の太陰肺経、手の陽明大腸経 12. 足の陽明胃経 13. 足の太陰脾経、手の少陰心経 14. 手の太陽小腸経、足の太陽膀胱経 15. 前期期末試験対策 16. 前期期末試験解説 17. 足の少陰腎経、手の厥陰心包経		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する		新版 経絡経穴概論（第2版）まとめプリント	
担当教員の実務経験の有無	有	演習問題プリント	
実務経験の内容			
鍼灸師として勤務経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はりきゅう理論 I		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解することを目的とする。 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について生理学的な知識と結びつけ理解することを目的とする。		
目標	1. 鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解し説明できる。 2. 鍼灸の治効機序・治効理論・関連学説について説明することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理、鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について講義を行う。	教科書をもとにプリントを用いて講義を行う。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、課題を加味して評価する		はりきゅう理論(医歯薬出版) 適宜プリントを配付する。	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はりきゅう理論Ⅱ		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解し、国家試験レベルの知識を習得することを目的とする。 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について生理学的な知識を結びつけ理解し、国家試験レベルの知識を習得することを目的とする。		
目標	1. 鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解する。 2. 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について正しく理解する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	- 鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について、教科書をもとにプリントを用いて講義・演習を行う。 - 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について、教科書をもとにプリントを用いて講義・演習を行う。	2年次配布資料を基に講義・演習を行う。 国家試験の過去問を反復して解く。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況を加味して評価する。		はりきゅう理論(医歯薬出版) 適宜プリントを配付する。	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学臨床論 I		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	臓腑ごとに関連の深い疾患について鑑別し、説明することができる。 疾患を東洋医学に基づいた考え方で分類し、治法、配穴を導き出す力を身につける。		
目標	1. 鍼術、灸術の種類や特徴を説明できる。 2. 臓腑に関連する病証を理解し、証を立てることができる。 3. 証に対する治法、選穴を選ぶことができる。 4. 疾患を東洋医学の考えで分類、鑑別することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・臓腑に関連する疾患について (肝に関連する疾患・心に関連する疾患・脾に関連する疾患 ・肺に関連する疾患・腎に関連する疾患・臓腑の複合病証) ・治則と治法 ・全身性の症候について ・女性特有の症候、小児老年にみられる症候		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学臨床論Ⅱ		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	疾患(主に運動器)の病態把握を正確に理解し、現代医学的な鍼灸治療を理解する		
目標	1. 疾患の病態について理解を深める。 2. 疾患に対しての現代医学的な鍼灸治療を理解する。 3. 疾患に対しての患者への生活指導法について理解する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・腰部疾患、頸部疾患、肩関節疾患、肘・手関節疾患、膝・股関節疾患、頭痛、顔面痛、腰痛、腹痛、女性疾患について、病態を理解し、それに基づく現代医学的な鍼灸治療の方法を理解する。		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編) 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 新潟県内鍼灸整骨院にて2年間の臨床経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学臨床論Ⅲ		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	国家試験の出題傾向を学び、疾患の鑑別、病態に対する説明をすることができる。 患者の状態の病態把握をし、疾患に適した治法、選穴ができる力を身につける		
目標	1. 疾患の病態把握をし、病証を示すことができる 2. 疾患に対しての治法、配穴を確定することができる 3. 疾患に対し現代医学的視点、東洋医学的視点から説明することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・臓腑と関連疾患の病態把握と鑑別 ・全身の症候に対する病態把握と鑑別 ・その他の症候に対する病態把握と鑑別 ・女性特有の症候に対する病態把握と鑑別 ・小児特有の症候に対する病態把握と鑑別 ・老年特有の症候に対する病態把握と鑑別 ・各疾患に対する鍼灸施術 ・各疾患に対する配穴 ・国家試験問題の分析(解き方と考え方)		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 授業内配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 新潟県内鍼灸整骨院にて2年間臨床経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学臨床論Ⅳ		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	国家試験の出題傾向を学び、疾患に対して臓腑を鑑別することができる。 病態把握し、疾患に適した治法、選穴ができる力を身につける		
目標	1. 患者の病態把握を行い証立てができる 2. 証に対しての治法を答えることができる 3. 治則、治法に基づいた選穴を答えることができる		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・蔵象 ・臓腑に対する証立て ・治則 ・治法 ・選穴方法 ・国家試験練習問題		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
病態生理学		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	臨床で観察される神経・筋疾患、腎・尿器疾患、感覚器疾患、代謝疾患、精神疾患の病状を例に発生機序と身体変化を検討する。		
目標	1. 患者が示す病状や所見から、機能低下をきたす仕組み、原因を考察し、説明できる。 2. 病態の知識をいかして、鍼灸臨床に応用することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 神経・筋疾患の病態生理 2. 神経・筋疾患の鍼灸臨床 3. 腎・尿器疾患の病態生理 4. 腎・尿器疾患の鍼灸臨床 5. 感覚器疾患の病態生理 6. 感覚器疾患の鍼灸臨床 7. 代謝疾患の病態生理 8. 代謝疾患の鍼灸臨床 9. 精神疾患の病態生理 10. 精神疾患の鍼灸臨床	・プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 ・プリントのノート欄に適宜メモをとること。 ・Google classroom授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		教科書：解剖学、生理学、臨床医学各論(医歯薬出版) 東洋医学臨床論(南江堂) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
あはき適応の判断		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床で遭遇する疾患について業務範囲内・外を適切に判断し、対応できることを目的とする。		
目標	1. 患者が示す病状や所見から、病態を把握できる。 2. 患者の病態について、業務範囲内・外を判断し、適切な対応ができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 循環系疾患の病態と鍼灸適否 2. 循環系疾患の鍼灸臨床 3. 呼吸器疾患の病態と鍼灸適否 4. 呼吸器疾患の鍼灸臨床 5. 血液疾患の病態と鍼灸適否 6. 血液疾患の鍼灸臨床 7. 内分泌疾患の病態と鍼灸適否 8. 内分泌疾患の鍼灸臨床 9. リウマチ疾患の病態と鍼灸適否 10. リウマチ疾患の鍼灸臨床	・プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 ・プリントのノート欄に適宜メモをとること。 ・Google classroom授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		教科書：解剖学、生理学、臨床医学各論(医歯薬出版) 東洋医学臨床論(南江堂) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
関係法規 I		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・後期	15時間／1単位／8回	講義	
授業概要 (目的)	法とは何かを理解し、はり師きゅう師の関係法規、患者の権利、リスク管理、医療事故と医療過誤について理解させることを目的とする。		
目標	はり師きゅう師に必要な法規を理解し、適切な運用ができるレベルに達する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	あはき師に関する法律、その他の医事法規について学ぶ。 1. 法の体制・業とは・資格要件 2. 鍼灸の免許について 3. 国家試験について 4. 鍼灸の業務について 5. 鍼灸師の罰則について 6. 各種届出について	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視して評価する。		関係法規、医療概論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門基礎分野	
科目名		講師名	
関係法規Ⅱ		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	15時間／1単位／8回	講義	
授業概要 (目的)	法とは何かを理解し、はり師きゅう師の関係法規、患者の権利、リスク管理、医療事故と医療過誤について理解させることを目的とする。		
目標	はり師きゅう師に必要な法規を理解し、適切な運用ができるレベルに達する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	あはき師に関する法律、その他の医事法規について学ぶ。 1. 法の体制・業とは・資格要件 2. 鍼灸の免許について 3. 国家試験について 4. 鍼灸の業務について 5. 鍼灸師の罰則について 6. 各種届出について	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視して評価する。		関係法規、医療概論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はりきゅう実技 I		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	90時間／3単位／45回	実技	
授業概要 (目的)	鍼灸の技術をもって各疾患の治療方針、治療方法を学び、治療ができるようになる。		
目標	1. 各臓腑の病証を鑑別できる。 2. 各疾患に適した治法を選ぶことができる。 3. 各疾患に対する配穴を選ぶことができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	鍼の基礎知識 灸の基礎知識 鍼の手技 灸の種類 臓腑に対する鍼灸治療 経脈に対する鍼灸治療 外邪に対する鍼灸治療 特殊鍼法	・前期 週1回, 後期 週2回となることに留意すること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に, 出席状況, 授業態度, 課題を加味して評価する		東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はりきゅう実技Ⅱ		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・通年	90時間／3単位／45回	実技	
授業概要 (目的)	運動器・神経疾患の病態把握，検査法，治療法について習熟し，臨床現場で応用できる技術の習得を目指す．		
目標	・運動器・神経疾患の病態生理を説明できる．【知識】 ・各疾患に対して適切な検査法を分類し，使用できる．【知識】 ・疾患に応じた鍼灸治療の理論を適用し，説明できる．【知識】 ・患者の状態を理解しようとする態度を持ち，積極的にコミュニケーションすることができる．【態度】 ・実技において安全性を意識し，適切なリスクマネジメントを行うことができる．【態度】 ・患者中心の視点で，治療法を選択しようとする姿勢を持つことができる．【態度】 ・運動器・神経疾患に対する検査法を実施できる．【技能】 ・適切な手技を選択し，対象疾患に対する鍼灸治療を準備・実施することができる．【技能】 ・触診や患者観察により，臨床情報を感知し，施術に活かすことができる【技能】		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 人体刺鍼におけるリスクマネジメント 2. 腰部疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 3. 頸部疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 4. 肩関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 5. 膝関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 6. 股関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 7. 胸郭出口症候群の検査・鍼灸治療 8. 神経絞扼障害の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 9. 手・肘関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 10. 頭痛の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 11. 三叉神経痛の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 12. PHNの病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 13. 顔面神経麻痺の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 14. 顎関節症の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 15. パーキンソン病の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 16. 慢性痛症の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療	・病態生理・病態把握については，プリントを中心に，基礎知識を習得する． ・検査法・鍼灸治療の実際については実演を供覧した後，ペアでの練習を行う． ・前期は週2回，後期は週1回となることに留意すること．	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する．		適宜プリントを配布する．	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
はりきゅう実技Ⅲ		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	実技	
授業概要 (目的)	認定実技審査(検査法、鍼灸実技、東洋系口頭試問、経穴取穴)に合格するための技術の習得を目指す。 臨床現場で応用できる鍼灸治療の習得を目指す。		
目標	検査法、鍼灸実技、東洋系口頭試問、経穴取穴が総合的にできる。 各疾患について鍼灸を使い治療ができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 検査法の復習 2. 鍼灸実技の復習 3. 口頭試問・経穴取穴の復習 4. 模擬カルテを使つての各疾患への治療	☐ 認定実技の評価に基づいて進める。 ☐ 前期は認定実技審査をメインに授業を進める。 ☐ 後期は模擬カルテをメインに授業を進める。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
認定実技審査の概要に基づいた評価 実技試験に基づいた評価		認定実技審査の概要に従う 各疾患のプリントを配布する	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
臨床実習前施術実技		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・後期	30時間／1単位／15回	実技	
授業概要 (目的)	臨床で使用する診察法を身につける。		
目標	1. 各診察技術の意義を理解し説明できる。 2. 各診察技術を取得し、安全に実施できる。 3. 患者に配慮し実施することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・問診について ・バイタルサインの測定(血圧・脈拍) ・聴診 ・打診、 ・触診 ・感覚検査 ・反射 ・徒手筋力検査(MMT) ・関節可動域測定(ROM)		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
実技試験による評価		新版 東洋医学臨床論 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
臨床実習Ⅱ		加納 舞	
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数	教育方法
2年・後期		45時間／1単位／23回	実習
授業概要 (目的)	医療人としての倫理観と態度を身につけ、安全かつ信頼性の高い鍼灸臨床を実践するための基本的な知識と姿勢を学ぶ。臨床現場において必要な医療面接、記録作成、症例の分析などの技能を通じて、患者との関わりを深める力を高める。		
目標	【知識】 ・鍼灸臨床における基本的な臨床推論のプロセスを説明できる。 ・医療面接の構成要素と流れを分類し、適用できる。 ・診療録の種類と記載要領について説明できる。 【態度】 ・患者・家族との信頼関係を構築するために、積極的にコミュニケーションすることができる。 ・臨床現場において倫理的態度を保ち、適切に行動することができる。 ・ディスカッションや症例報告に積極的に参加し、自ら学ぶ姿勢を表現することができる。 【技能】 ・医療面接を通じて必要な医学的・東洋医学的情報を調べることができる。 ・臨床推論に基づき症状の鑑別と診療計画を準備することができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 鍼灸師に必要な臨床能力とは 2. 医療面接 コミュニケーション技法, 医療面接の目的 医学的情報の収集, 医療面接の流れ, 東洋医学的問診 3. 臨床推論 臨床的考察法, 仮説演繹法, レッドフラッグの判断, 情報整理, 鑑別診断 4. 症候別 臨床推論 5. 診療録(カルテ) 診療録の意義, 問題志向型(POS)診療録の作成, 医療連携と紹介状 6. 症例報告 症例報告の意義, 症例報告の作成		・実習の手引きに沿って, 講義・演習・実習にて実施する。 ・欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
出席状況, 授業および実習参加態度, 授業レポート, ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢から総合的に判断する。		実習の手引き(2025年度版) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年, 介護施設2年, 開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
臨床実習Ⅲ		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年・前期	45時間／1単位／30回	実習	
授業概要 (目的)	・介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 ・スポーツ現場での鍼灸師の役割を理解する。 ・福祉及びスポーツの現場で、鍼灸師としてどんな対応をすべきか考えられる。		
目標	1. 介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 2. スポーツ現場で役立つ知識および技術を身に付ける。 3. 福祉及びスポーツの現場で、鍼灸師としての対応について考えることができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	【福祉実習】 ・介護保険の理解, 認知症の理解 ・コミュニケーション技法 ・身体介助の実際(移動, 移乗, 更衣介助等) ・高齢者鍼灸の理論と臨床 ・介護保険サービス施設の見学 ・学びのまとめと発表 【スポーツ実習】 ・スポーツトレーナーの役割 ・トレーニング概論および実習 ・コンディショニングについての理解 ・競技別の特性とケア ・ストレッチ実習 ・テーピング実習	・実習の手引きに沿って、講義・演習・実習にて実施する。 ・欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
出席状況, 授業および実習参加態度, 授業レポート, ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢から総合的に判断する。		実習の手引き・福祉編(2025年度版) 実習の手引き・スポーツ編(2025年度版)	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年, 介護施設2年, 開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
臨床実習Ⅳ		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	45時間／1単位／23回	実習	
授業概要 (目的)	臨床現場での適切な患者対応を身に着ける。 医療面接で必要な情報を聴きとることができる。		
目標	患者とコミュニケーションをとり、スムーズな医療面接ができる。 疾患を診断、鑑別し治療方針の確定ができる。 治療に必要な手技が行える。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・オリエンテーション(実習Ⅳについて) ・医療面接練習 ・実技練習 ・盛医鍼灸院実習 ・外部実習について・実習用資料作成 オリエンテーション 注意点・心構え ・グループワーク ・セクハラ・パワハラ(ハラスメント)について ・外部実習		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
提出物、出席状況、授業態度を加味して評価する。		臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学 臨床論、経絡経穴概論 適宜、配布資料	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
特別講義 I		加納 舞	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	臨床で観察される感染性疾患, 整形外科疾患, 消化器疾患, 肝・胆・膵疾患, 婦人科疾患, 精神疾患の病状を例に発生機序と身体変化を検討する。		
目標	1.患者が示す病状や所見から, 機能低下をきたす仕組み、原因を考察し, 説明できる。 2.病態の知識をいかして, 鍼灸臨床に応用することができる。		
授業内容	教育内容		教育方法・留意点
	1. 感染性疾患の病態 2. 整形外科疾患の病態 3. 消化器疾患の病態 4. 肝・胆・膵疾患の病態 5. 婦人科疾患の病態 6. 精神疾患の病態		・プリントを基に, スライドにて講義を進め, 問題演習を行う。 ・プリントのノート欄に適宜メモをとること。 ・Google classroom授業へ補足資料, オンデマンド動画を提供する. 積極的に使用して理解を深めること。
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に, 出席状況, 授業態度, 課題を加味して評価する。		教科書:解剖学, 生理学, 臨床医学各論(医歯薬出版) 東洋医学臨床論(南江堂) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
大学附属鍼灸センター2年, 介護施設2年, 開業(出張)2年(以上兼務) 本校附属鍼灸院6年			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
特別講義Ⅱ		柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	衛生学・公衆衛生学の基礎を再度確認・理解し、国家試験に対応できる知識を身につけ、深める。		
目標	各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	第2章 復習・まとめ・問題演習 第3章 復習・まとめ・問題演習 第4章 復習・まとめ・問題演習 第5章 復習・まとめ・問題演習 第6章 復習・まとめ・問題演習 第7章 復習・まとめ・問題演習 第8章 復習・まとめ・問題演習 第9章 復習・まとめ・問題演習 第10章 復習・まとめ・問題演習 第11章 復習・まとめ・問題演習 第12・13章 復習・まとめ・問題演習 国試対策 問題演習 国試対策 問題演習 国試対策 問題演習		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績により評価する		衛生学・公衆衛生学(第2版) まとめプリント 演習問題プリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
鍼灸師として勤務経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
特別講義Ⅲ		堀 優貴	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	疾病の概念を明らかにするため、疾病の原因と細胞の変化など病理の基礎を理解することを目的とする。		
目標	疾病の成り立ちおよび機序を理解し、説明することができる。 病理学各論について、主要な疾患の概要を説明することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1.病理学とは 2.疾病の分類 3.病因 4.退行性病変 5.進行性病変 6.循環障害 7.癌症 8.免疫異常・アレルギー 9.感染症 10.腫瘍 11. 先天性異常 12. 老化と死	プリントを基に、講義を進める。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の結果を主に、出席状況を加味して評価する。		病理学概論(医道の日本社) 適宜プリント配付	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験あり。 盛岡医療大学校にて2年間の教務経験と附属鍼灸院での臨床経験あり。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
総合医学特論 I		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。		
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータル的に問題が解けるようにする。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し評価する。		臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
総合医学特論Ⅱ		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・前期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。		
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータル的に問題が解けるようにする。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し評価する。		臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
総合医学特論Ⅲ		佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	15時間／1単位／8回	講義	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。		
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータル的に問題が解けるようにする。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト	☐ プリントを使用して講義を行なう。 ☐ 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
定期試験の成績を最重視し評価する。		臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
北東北東洋医療専門学校、盛岡医療大学校の附属鍼灸院で24年間勤務した経験有り。			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学特論Ⅰ		土屋 幸久	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回	講義	
授業概要 (目的)	・東洋医学の基礎(陰陽五行論、気血津液、臓象)を説明できる。 ・国家試験に準じた問題を解き、解説することができる。 ・最近の国家試験の出題に準じた言い回しに対応することができる。		
目標	1. 問題の解答を導き出し、解説することができる。 2. 用語に対し、別の表現での出題に対応することができる。 3. 1, 2年次の内容を理解し、説明することができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・東洋医学概論総復習 1章東洋医学の特徴 2章生理と病理 3章東洋医学の思想 4章四診 5章証論治 ・国家試験出題基準に基づいた用語確認 ・国家試験問題演習と解説	評価についての注記や必要な予習等の 特記事項がある場合は記載します。	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
筆記試験による評価		東洋医学概論 国家試験 過去問題 復習用 資料配布	
担当教員の実務経験の有無		有	
実務経験の内容			
東京医療専門学校附属鍼灸院(代々木院)にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院(盛医鍼灸院)にて8年の臨床経験あり			

シラバス

令和7年度

MCL盛岡医療大学校

鍼灸学科		専門分野	
科目名		講師名	
東洋医学特論Ⅱ		梶谷 聖	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年・後期	30時間／1単位／15回	講義	
授業概要 (目的)	疾患(主に運動器)の病態把握を正確に理解し、国家試験に合格する力を身につける。		
目標	1. 疾患の病態について理解を深める。 2. 疾患に対しての現代医学的な鍼灸治療を理解する。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	・腰部疾患、頸部疾患、肩関節疾患、肘・手関節疾患、膝・股関節疾患、頭痛、顔面痛、腰痛、腹痛、女性疾患について、病態を理解し、それに基づく現代医学的な鍼灸治療の方法を理解する。		
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編) 配布資料	
担当教員の実務経験の有無	有		
実務経験の内容			
京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 新潟県内鍼灸整骨院にて2年間臨床経験有り。			